

産業建設民生常任委員会

産業建設民生常任委員会とは、町の農林課、水産商工課、長寿福祉課、健康子ども課、建設課、都市計画課及び上下水道課に属する事務の調査などを主に行っています。

メンバーは、委員長きくち こうめいの菊地光明議員、副委員長さとう かつのりの佐藤克典議員、委員こん きよしの昆清議員、阿部吉衛あべ よしえ議員、横田龍寿よこた たつひさ議員、坂本正さかもと ただし議員です。

台風19号被害からの復旧工事箇所を視察

4月26日、産業建設民生常任委員会は、令和元年台風19号で被害を受け、復旧工事を行った箇所などの現地視察を行いました。

視察箇所は22カ所で、準用河川女川や準用河川長内川などの特に被害が大きかった箇所を重点的に視察し、担当課から状況の説明を受けました。

なお、写真は被災直後と4月26日現在のものを掲載しています。



被災し土砂や流木が山積みになった女川上流部



女川上流部に設置された仮設ワイヤーネット

準用河川女川 (田の浜地区)

大規模な土石流が発生した準用河川女川の上流部には、岩手県により砂防堰堤えんていが整備されます。整備されるまでの間、仮設のワイヤーネットが設置され、応急的な対策が取られています。

また、田の浜コミセン付近では、崩落した河岸を復旧するためコンクリートブロック積工による復旧工事を第2四半期（7月～9月）に発注予定とのことです。なお、船越・田の浜・大浦地区の災害復旧の担当は建設課です。

砂防堰堤とは山の斜面や川底・川岸などから流出する土砂を貯めて川の水の流れを緩くしたり、斜面崩壊や川の侵食が進むのを防いだり、一度に大量の土砂が下流に流れ出て災害を起こさないように土砂の流出量をコントロールしたりといった役割があります。

準用河川長内川 (豊間根地区)

豪雨により氾濫した準用河川長内川は、護岸の各所が崩落する被害が発生しました。それぞれの被害箇所です復旧工事が行われています。なお、織笠以北の災害復旧の担当は都市計画課です。



護岸復旧中の長内川（長内コミセン付近）



氾濫被害が発生した長内川